

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-3	5-1-2	事業名	子どもの美術体験事業
担当	観光文化局文化部市民文化課 大森、木村 TEL211-2261			
全体計画				
事業内容	小学校にアーティストを派遣したり、小学生を美術館に招待する等の様々なアプローチにより、次代を担う子ども達に美術体験をさせる事業。		＜年度別の事業内容＞	
			【平成20～22年度】 同内容で実施するが、規模を段階的に拡大していく予定。	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・ 量 ・ 場		【ハロー！ミュージアム事業】 市内小学5年生を対象に、芸術の森美術館(野外美術館)へ招待し、文化芸術にふれ、学ぶ機会を提供した。学芸員による展覧会解説や美術館でのワークショップ、学校に出向いての事前学習を実施した。 実施形態:財団法人札幌市芸術文化財団に対する補助金 実施場所:事前学習-市内の小学校 鑑賞活動・表現活動-芸術の森 実施規模:小学校14校、児童数833人	
【おとどけアート事業】 小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させ、「アート体験」を子ども達に届ける事業。子ども達にアーティストと直接触れ合い、共に作品を制作する経験をさせることにより、子ども達の芸術的感性を育むことを目的とする。 実施形態:実行委員会(NPO法人S-AIRが中核)への補助金 実施場所:市内の小学校 実施規模:小学校2校、児童数1,286人				
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	・ 規 模		【ハロー！ミュージアム事業】 市内小学5年生を対象に、芸術の森美術館(野外美術館)へ招待し、文化芸術にふれ、学ぶ機会を提供した。学芸員による展覧会解説や美術館でのワークショップ、学校に出向いての事前学習を実施した。 実施形態:財団法人札幌市芸術文化財団に対する補助金 実施場所:事前学習-市内の小学校 鑑賞活動・表現活動-芸術の森 実施規模:小学校29校、児童数約1,891人	
【ハロー！ミュージアム事業】 市内小学5年生を対象に、芸術の森美術館(野外美術館)へ招待し、文化芸術にふれ、学ぶ機会を提供する。学芸員による展覧会解説や美術館でのワークショップ、学校に出向いての事前学習を実施する。 実施形態:財団法人札幌市芸術文化財団に対する補助金 実施場所:事前学習-市内の小学校 鑑賞活動・表現活動-芸術の森 実施規模:小学校100校、児童数約7,000人 その他 :訪問校は教育委員会等、関係者と協力の上、公募等により決定。				
事業内容	・ 件 数 等		【おとどけアート事業】 小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させ、「アート体験」を子ども達に届ける事業。子ども達にアーティストと直接触れ合い、共に作品を制作する経験をさせることにより、子ども達の芸術的感性を育むことを目的とする。 実施形態:実行委員会(NPO法人S-AIRが中核)への補助金 実施場所:市内の小学校 実施規模:小学校2校、児童数695人	
			【おとどけアート事業】 小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させ、「アート体験」を子ども達に届ける事業。子ども達にアーティストと直接触れ合い、共に作品を制作する経験をさせることにより、子ども達の芸術的感性を育むことを目的とする。 実施形態:実行委員会(NPO法人S-AIRが中核)への補助金 実施場所:市内の小学校 実施規模:小学校3校	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-3	5-1-2		事業名	子どもの美術体験事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
参加児童数(累計)	—	—	2,119人	4,705人	7,023人	3,200人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 当事業は、小学生を対象とした、市民参加型の事業である。 また、学校関係者、アート関係者と連携しながら事業を実施し、子どもたちに文化芸術に親しむ機会を提供している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 【ハロー！ミュージアム事業】 参加校について、教育委員会の協力を得ながら公募している。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>【ハロー！ミュージアム事業】 学校における事前学習と、当日の佐藤忠良記念子どもアトリエまたは芸術の森美術館での鑑賞・創作活動を通して、子どもたちが学芸員から美術鑑賞のポイントやマナーなどを学ぶことにより、美術に対する関心を高める機会とすることができた。</p> <p>【おとどけアート】 子ども達は、アーティストの多様な価値観に直接触れ、物作りに関わったことで、創造的な刺激を受けることができた。また、作品のお披露目会には地域の住民も参加するなど、事業を通じて、学校関係者と地域住民との交流も生まれた。</p>			<p>【ハロー！ミュージアム事業】 事前学習と当日のワークショップという二段階の事業内容となっているため、事業の質を維持していくためにはスタッフの確保が不可欠である。平成23年度に全小学校を対象に実施するため、事業内容やスタッフ体制の整備等を検討する必要がある。</p> <p>【おとどけアート事業】 スタッフ体制の整備や企業協賛の獲得による財政面の安定化により、参加校を増やすための仕組みづくりを構築していく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
同内容で実施予定であるが、規模を段階的に拡大していく予定。							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-3	5-1-2		事業名	子どもの美術体験事業				
事業費の推移										
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費			0	700	1,350	1,950	4,000		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他		0	0	0	0	0		
		一般財源		0	700	1,350	1,950	4,000		
予算	事業費			0	2,000	3,800	9,500	15,300		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0	0	0		
		市	債	0	0	0	0	0		
		その他		0	0	0	0	0		
		一般財源		0	2,000	3,800	9,500	15,300		
実績	事業費			0	2,000	3,800	-	5,800		
	財源内訳	国・道	支出金	0	0	0		0		
		市	債	0	0	0		0		
		その他		0	0	0		0		
		一般財源		0	2,000	3,800		5,800		
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)						382.5%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 当初の計画に位置付けられていた「おとどけアート」事業に、平成20年度の事業開始時から「ハロー！ミュージアム」事業を追加した。 [19年度] [20年度] [21年度] 「ハロー！ミュージアム」参加校の拡充 [22年度] 「ハロー！ミュージアム」「おとどけアート」ともに参加校の拡充										